

# 五島市図書館友の会だより

第1号 (2012.11.1)  
発行所  
五島市図書館友の会

## 「知の地域づくり」をめざして

五島市図書館友の会代表 坂井 輝

1ターンの私が述べるには少々、不適だが「図書館の役割は？」と聞かれると即「知的立国をめざすこと」と答えます。

これは慶應大学教授・片山晋博元生（元鳥取県知事・元総務大臣）の提唱されてきたことを受売りですが、この6月に「五島市図書館友の会」設立に当たり「どう考えても不仮合いだよね～」と思いつつ、代表探しに使われた末の代表を引き受け受ける際の自分への励ましといおうか、志といおうか、の常にくに下カッと思つた言葉「知的立国をめざす」がありました。そのために少しでも後につなげ、と引き受けた次第です。

さて、私は岐宿に住んでいます。限界集落に備えといつていいほど近づきつつある周辺の地域の様子に「何とかならないのか」とない頭を悩ましています。

日頃は子どもたちの図書ボランティアをしています。こちらは子どもたちから元気をもらっています。

そして思ふのです。地域づくりにする読書推進にする「知」をもっと手元に引き寄せ、学ばねばと。

課題を話し合ひ行動するそのベースに「学び=知」がもっとあっても良いのではないかと、いや必要なのではないかと。そのための「知の拠点」が図書館だと思ふのです。友の会としてできることがあります、できないことも今後出てくるでしょう。図書館とよく話し合い進めていきたいと思ひます。

## \*\*\*坂宿支所公民館図書室整備のお手伝い\*\*\*

市川 和枝

9月25日（火）10時から坂宿支所公民館図書室の整備のお手伝いに行ってきました。本の分け方など、知識の無い私に「何か手伝いが出来るのかな」と思っていました。が、「本のほこりを取って」の言葉に「それなら出来ます」と早速とエプロン持参で参りました。  
(次頁につづく)

幼児から高齢者の方、誰もが図書館者を利用しやすいようにと考えられ整備が始まりました。幼児のために量を置き、書架を低くして子ども用の目録で本を選びやすくする。

これは、主事手作りになるそうです。学生が、自由に読書が出来るように、壁にテープを貼って閲覧易くさせる。応接セットを置き、ソファアーに座ってゆったりとした時間を過ごせるようにする。自由に本が選べるように、人の動線を考えた書架の配置に委ねるなどの計画を聞いて、出来上がりを見て、わくわくしてきます。

今回は、書棚から本を降ろして、ほこりをとる作業でしたが、ミルキー（市内小学校・読書ボランティア）の会員の方も参加され、6人で作業しました。「ナツササと、パッパサ」を合言葉に、みんな黙々と手を動かして、2時間の作業はスムーズに進みあっという間に過ぎました。

これから完成までは、何度かの作業が必要ですが、新しくなった図書室を住民の皆さんに利用してもらい、コミュニケーションの場になれば、図書室整備に携われた事を嬉しく思います。



## \*\*\*一人でも多くの人に一冊でも多くの本との出会い\*\*\*

武藤 蘭子

先日、布絵本の講習会に参加するために初めて長崎市立図書館を訪ねた。そこは私の図書館への印象を良い意味で覆切ってくれる図書館だった。

昔の古い書棚をすらすらと並べた絵本のコーナーは一瞬から端まで見渡すことができた。もしも私が子どもだったら、この圧倒感のない広々とした空間そこに身を置いただけで興奮してしまうのではないかと思つた。ましてやそこには見えたことのない様々な絵本がぎっしりと詰まっているのだから。

視線をすらすらと、図書館にこんなにも沢山の雑誌を置いていいのかな？と思ふほどの量の雑誌がある。それは日本でも出版されているほんの一部なのだろうが、五島の木屋さんには置いてある雑誌の種類は豊富だ。しかも、ジャンルがとにかく豊富で、その隣に実用書・趣味の本のコーナーを合わせると、ほとんどの人のニーズに答えることができるだろうなと思えた。「どんなジャンルの本でも揃ってますよ。」という図書館のメッセージを感じることができた。また、その種類の仕方にも園芸・料理・旅などなどについて、とても利用者には分かりやすくなっていて、置いてある新聞も様々な。図書館にこれだけの新聞が置いてあるのは木当にうらやましいと思ふ。また、あちこちに椅子が置いてあって、遊び疲れた方や高齢者の方にも喜ばれるだろうと思つた。

(次頁につづく)

ほかにも私が好きだったのは、ヤング・アダルト向けの本の多さだ。あちこちにお勧めの一冊のコーナーがあり、子どもたちに書いた本の推薦文が出ている。思わず手にとって読み出してしまった。私が、小・中学生にブックトークで紹介していた本がちゃんと置いてあったのも嬉しい事だった。

以前、どんな図書館が欲しいという話があった時に「学習室」と答えた方がいて、「えっ、図書館で勉強」とびっくりしたのだが、他にも読後情報などのようなコーナーや読み聞かせのコーナーなどいろんなとあって、それぞれが様々な方に利用されていた。

「今の図書館は情報を得る所・生活する上でちょっとした疑問に答えることができてる所になっていていいんですよね。」という話を聞いたことがあったが、図書館がただ本を置いてあるだけではなく、人々の生活を豊かにしていく為の場所になっていくということを実感させる図書館だった。

本を薦に買ってもらった経験のない私には動心ついた頃から「大人になったら好きな本、気に入った本を買うことができるようになりたい」というのが夢だったのだが、現実にはなかなか難しく文庫本を買うぐらいのことしかできない。こんな図書館が身近にあったらどんなに幸せだろうと思いついた図書館を後にした。

先日はまた多良見の図書館・森山の図書館を見る機会があった。特に多良見図書館の多目的ホールは五島にもこれくらいの大きさのホールがあったら講演やコンサートなどの公演・映画会等様々な活用することができるのにと、映画館さえなくなくなってしまった五島の私たちにとってはのどから手が出るほど欲しいと思える施設だった。また、各文化団体の時は録音と写真だったが、積極的に図書館を利用して、副館長の「公民館の中に図書室ではなく、逆転の発想で図書館の中に公民館を」という話には、私たちが新しい提言に思えた。

いろんな図書館を見る機会に恵まれ、いろんな意味で図書館の果たす役割が本好きな人の為だけにあるものではなく、多くの人の生活を豊かにしていくものだということを実感し、改めて図書館はいかにあと思った研究だった。



### 図書館の主な催し

- 五島市児童生徒読書感想弁表会  
11月23日(金) 午後2時～  
福江文化会館3階 展示室
- クリスマス会(主催 おはなしもこもこ)  
12月16日(日) 午前10時半～  
勤労福祉センター2階 第1講習室(文化会館隣)

## 五島市図書館友の会 会則

### 第1条 (名称)

この会の名称を「五島市図書館友の会」とします。

### 第2条 (目的)

- 1 「市民の暮らしに役立つ図書贈与サービス」を受け取るため図書館を守り育てます。
- 2 子どもたちの未来のために良い読書環境を整備します。

### 第3条 (事業)

上記の目的を達成するため、以下の事業を行います。

- 1 図書館への「協力」と「提案」をします。
- 2 図書館のことにまつて学び、図書館利用を市民に広めます。

### 第4条 (事務所)

事務所は代表の所在地におきます。

### 第5条 (会員)

図書館を利用し、目的に賛同する人は会員になることができます。

### 第6条 (総会および役員会)

毎年定期総会を開き、必要に応じて臨時総会および役員会を開きます。

### 第7条 (役員)

代表・副代表・会計・事務局長は必要な役員を総会で選びます。

代表は、本会を代表し、会を統括します。

副代表は、代表を補佐します。

会計は、会計を処理します。

事務局長は、総会や役員会の決定に基づき事業執行や管理業務を行います。

### 第8条 (会計)

会は会費・寄付金・その他の収入によって運営します。

会費は年500円とし、会計年度は4月1日から8月31日の1年間とします。

### 附則

- (1) 会則の変更は総会の決議によります。
- (2) 本則に定めのない事項に関しては、役員会において定めます。
- (3) この会則は2012年6月9日より施行します。

【編集後記】私が小学校1年生の時に学校の図書室で初めて借りた本は「もりのおいしやさん」(あかね書房)です。ネット検索してみたら、ありました！ほのぼのとしたタッチの表紙の絵を見て懐かしくなりました。表紙の絵が気に入ってこの本を借りたように思います。近くに図書館がなく、初めて本を借りた体験はワクワクしたので今でも覚えていたのだと思います。30年以上経ってすっかりおぼろげになったけど、7歳の気持ちに戻って読んでみようかな。(野口裕代)